

プレスリリース

2025年10月7日

ノースリーフ・キャピタル・パートナーズ、 日本における事業開発担当マネージング・ディレクターに清森英晃氏を任命

ノースリーフは日本市場でのプレゼンス強化に一層注力

【2025年10月7日 トロント、東京】 ノースリーフ・キャピタル・パートナーズ（以下「ノースリーフ」）は本日、清森英晃氏を日本における事業開発担当マネージング・ディレクターに任命したと発表しました。同職就任にあたって清森氏はノースリーフの東京オフィスに着任し、日本における既存の事業開発および投資家向け広報活動を支援します。同氏は、東京オフィスを率いるアジア太平洋地域責任者兼共同創業者、ジェフ・ペントランドの直属の部下となります。

ペントランドは「ノースリーフは日本における当社の将来性へ継続的に投資し、深化させており、清森英晃氏を当社に迎えることができ大変嬉しく思います。彼の起業家精神、日本市場に対する深い理解、そしてプライベート・オルタナティブに関連する幅広い知識は、日本国内で投資家との関係強化に努める中で非常に貴重なものとなるでしょう。今後、清森氏が様々な資産クラスにおける資金調達で専門性を発揮することで、日本の投資家に魅力的なプライベートマーケット分野におけるソリューションを提供する当社の業界での基盤はさらに強化されるでしょう」と述べています。

清森氏は、投資運用業界で20年以上の経験を持つ、高い専門性を有する機関投資家向け営業リーダーです。直近ではアライアンス・バーンスタインにてプライベート・オルタナティブ部門のディレクターを務め、プライベート・エクイティ、プライベート・クレジット、インフラストラクチャー分野で資金調達を担当しました。同氏は日本生命保険相互会社で投資業務担当としてキャリアをスタートさせ、その後日本生命とマスマチュアル生命保険のオルタナティブ投資部門において、プライベート・アセット・マネージャーのファンド選定業務を担いました。



清森氏は「ノースリーフは成長のステージにあり、このようなエキサイティングな時期に参画できることを光栄に思います。日本における当社の強固な基盤をさらに発展させ、市場全体でますます拡大する投資家やパートナーとの関係を深めていくことを楽しみにしています」と述べています。

ノースリーフは2022年に日本拠点を開設し、アジア太平洋地域への長期的なコミットメントを強化しています。過去3年間にわたり、当社は日本での確固たるプレゼンスを構築し、大手機関投資家へサービスを提供し、プライベート・エクイティ、プライベート・クレジット、インフラストラクチャー分野におけるノースリーフの他社とは一線を画すミドルマーケット戦略へのアクセスを提供してきました。

ノースリーフ・キャピタル・パートナーズについて

ノースリーフ・キャピタル・パートナーズは、グローバルなプライベートマーケット投資会社であり、これまでに公的年金、企業年金、基金、財団、金融機関、ファミリーオフィスから、プライベート・エクイティ、プライベート・クレジット、インフラストラクチャー分野において総額300億米ドル以上の資金を調達しています。ノースリーフの275名のチームは、トロント、シカゴ、ロンドン、ロサンゼルス、メルボルン、メンロパーク、モントリオール、ニューヨーク、ソウル、東京の拠点到に配属されています。ノースリーフは、ミドルマーケットの企業と資産に焦点を当て、プライベートマーケット投資の組成、評価、管理を行っています。詳細については、www.northleafcapital.comをご覧ください。

メディア関係者様向けお問い合わせ先

広報代理（日本） アシュトン・コンサルティング NorthLeafJapanPR@ashton.jp

TEL: 03-5425-7220 担当：マス、菊池、塩加井